

【取組内容③】端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実（反転授業）



（教師及び生徒の変容）

- 教師はWEB上で授業計画を確認できるため、授業の進度調整が楽になった。
- 教師の業務分担により、教材づくりに時間をかけられるようになった。
- 教師は授業時に伝えきれない内容も、動画で伝えることができるので、授業づくりへの意欲が高まった。
- 生徒は、自分に必要な情報を取捨選択して学習できるので、これまで以上に主体的に学習に向き合うようになった。

（生徒の活動）

- ①授業時間外に授業の予習動画を視聴
- ②授業中に問題演習（個別の課題設定）

（実施にあたっての工夫点）

- 教員間で動画撮影を分担（負担軽減）する。
- 作成した授業計画をクラウド上におき、教師及び生徒の閲覧を可能にすることで、進度をそのつど確認したり、見通しをもつ際の参考にしたりすることができる。

